

# 神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル

第1号

2011.7.15

## タイトル名を募集中!

応募先は教育委員会へハガキにて



部活動交流で  
競技力の向上を  
めざします!



「総合的な学習の時間」に  
油木高校産業ビジネス科の  
先生による出前授業



地域の特産品づくり(ナマズ養殖)に挑戦



## 神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会



町花：ヒゴタイ

# 連携型中高一貫教育をめざして

## 神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会

委員長 山本 剛久



本町教育委員会としましては、平成二十三年三月「神石高原町中高一貫教育検討委員会」より答申を受け、本町の教育理念であります「未来を拓く人と文化の創造」を一層推進する上で、「県立油木高校と町内中学校との連携型による中高一貫教育は有効である」と考え、この6月に方針決定をし、「神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会」を設置したところであります。

本協議会としましては、設置目的にあります「町内中学校と油木高校との連携型による一貫教育を実現させるため」に、諸条件整備に向けて一生懸命取り組んで参りたいと考えています。

具体的には、広島県教育委員会のご理解・ご協力を頂きながら、地元油木高校と町内四中学校が、本年度より連携型による中高一貫教育の本格的実施に向けて、教育活動連携を一層充実させ、教育効果の向上をめざすと共に、県指定が受けられるよう取り組みを進めていきたいと考えています。

そのためには、各中学校・高校の先生方は勿論のこと、地域・保護者の皆様方の深いご理解とご協力が是非とも必要です。

今後、本協議会の取組状況や中高連携状況等を年3回の情報紙（神石高原町連携型中高一貫教育ジャーナル《タイトル名の募集中》）でお知らせしたいと考えています。

皆様方のご意見ご感想等お聞かせください。どうかよろしくお願い致します。



### 【神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会委員の紹介】

委員長	山本 剛久	教育委員会教育委員長
副委員長	井上 洋	油木高校を育てる会事務局長
委員	吉岡 正晴	広島県立油木高等学校長
委員	徳永 春喜	神石高原町立三和中学校長
委員	渡邊 稔恵	神石高原町立神石中学校長
委員	住元 康男	神石高原町立油木中学校長
委員	實田 鉄也	神石高原町立豊松中学校長
委員	高原 淳尚	広島県立油木高等学校PTA会長
委員	田邊 忠明	神石高原町立神石中学校PTA会長

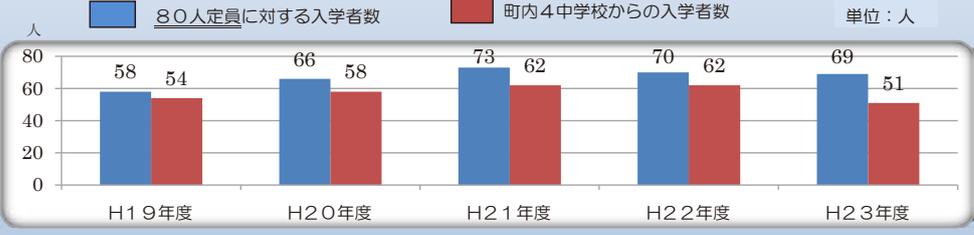
# 神石高原町連携型中高一貫教育についての概要

## 経過と現状

### 神石郡中高一貫教育への取組み経過

- H13～14年度 中高一貫教育実践研究事業の文科省指定を受ける  
(教科・国・数・英)、体験学習、情報教育、進路・生徒指導の4部会で実践研究し、地理的状況や地域理解など諸般の事情から、時期尚早との報告をまとめる)
- H16年4月 新町教育行政として「小・中・高校教育支援事業」を創設(H16～25年度の10年間で5億円を基金積み立て)
- H20年6月 県立高校再編整備基本計画(学校の特色づくりと適正規模化の推進)
- H21年8月 小規模高校の学校間連携事業(現在、県内10グループ22校で実施。油木高校は現在該当していない)
- H22年3月 町議会一般質問で町長が中高一貫校について検討を表明
- H22年7月 町中高一貫教育検討委員会の設立(5回の委員会と5回の視察研修等を実施)
- H23年3月 町中高一貫教育検討委員会より答申(連携型中高一貫教育は有効。但し、推進上一定の条件が必要である。)
- H23年6月 町教育委員会が「連携型中高一貫教育」の推進方針を決定し、推進協議会を設置

### 油木高校入学者の状況

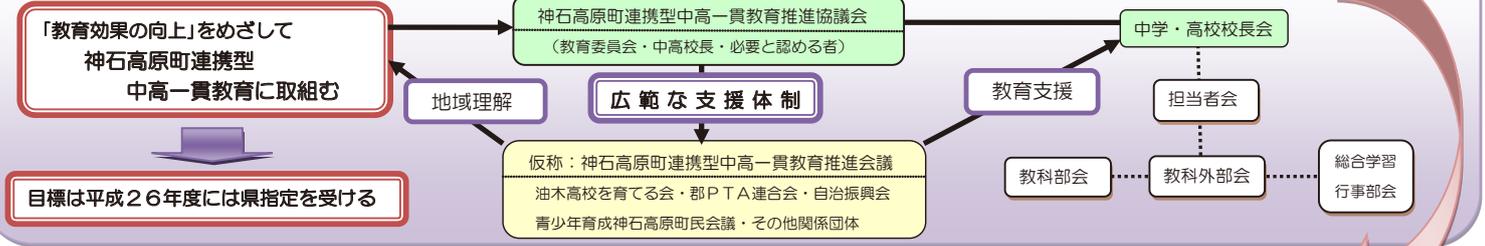


### 町内中学校卒業生徒数の推移 (H23年5月現在)

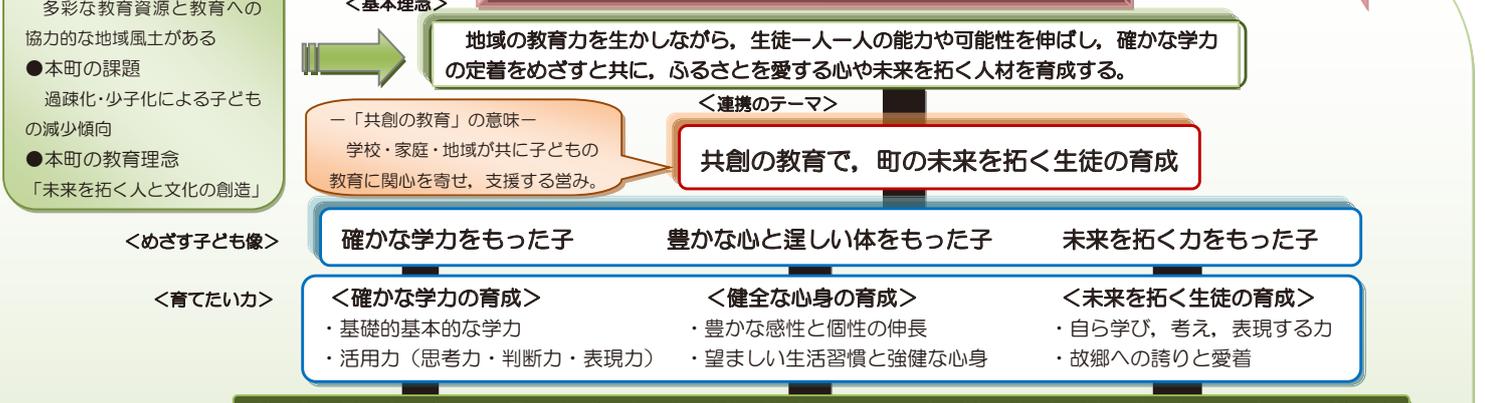
H19年卒	110名	H24年卒	78名
H20年卒	101名	H25年卒	64名
H21年卒	106名	H26年卒	81名
H22年卒	94名	H27年卒	66名
H23年卒	84名	H28年卒	80名



### 教育委員会の基本方針



### 神石高原町連携型中高一貫教育のイメージ



### 連携型中高一貫教育における町内4中学校と油木高校との連携

連携の柱	教科連携 (教科部会)	教科外連携 (生徒指導部会・部活動部会)	総合学習・行事連携 (総合学習・行事部会)
連携実践例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高相互授業参観</li> <li>・教職員合同研修</li> <li>・相互出前授業</li> <li>・高校英語入門講座</li> <li>・ICT機器を活用した交流学习など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生徒指導部会、進路指導部会の開催</li> <li>・保護司との中高合同交流会</li> <li>・部活動交流</li> <li>・油高杯大会(剣道, サッカー)への参加</li> <li>・地域体育的行事への中高校生参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業ビジネス科の出前授業(農業・環境問題)</li> <li>・油木高校学習成果発表会への参加</li> <li>・文化的行事への参加</li> <li>・高校進路学習会</li> <li>・職場体験学習発表会交流</li> </ul>



# まとめ知識 Q & A

## Q1 中高一貫教育って何？

**A** 中学校と高校の6年間を一つのまとまりとして捉えることです。その中で次のような教育効果が期待されます。

- ① 安定した環境の中で、6年間の学校生活を送ることが出来る。(ゆとりある学校生活)
- ② 6年間の計画的・継続的な教育指導を展開することが出来る。(継続性ある教育指導)
- ③ 6年間にわたり生徒を把握することができ、個性の伸ばしや優れた才能を発見できる。(伸ばせる個性・才能)
- ④ 学年の異なる生徒同士が共通の活動を通して社会的な豊かな人間性を育成できる。(豊かな人間性の育成)



## Q2 中高一貫教育にはどんな種類があるの？

**A** 中高一貫教育には3つの実施形態があります。

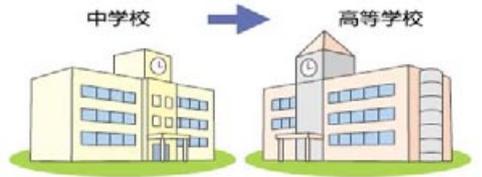
- ① 中等教育学校  
中学校・高校とこの区別のない一つの学校として6年間の教育を行います。高校入学の際の選抜はありません。
- ② 併設型の中学校・高等学校  
同一の設置者による中学校と高校を接続するもので、例えば県立の中学校と県立の高校を入学選抜なしに接続し、6年間にわたる計画的・継続的な教育を行います。



## ③ 連携型の中学校・高等学校

既存の市町村立中学校と都道府県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間の交流などの面で連携を深める形で中高一貫教育を実施するものです。

高校入学の際の入学選抜は実施されませんが、一般入試とは少し違う内容で実施されることが多いようです。



## Q3 連携型中高一貫校の場合、中学校から高校へ進学する時、必ず連携校の高校へ進学しなければならないの？

**A** いいえ、そのようにはありません。

連携中学校から高校へ進学する場合は、連携している高校以外にも進学することができます。

## Q4 中学校から連携高等学校に進学する時、入学試験はあるの？

**A** 広島県の場合、平成二十四年度は次のように定められています。

平成二十四年度広島県立高等学校入学選抜の基本方針  
「連携型中高一貫教育に関する選抜」  
広島県立高等学校校則に定める連携型中学校から連携型高等学校への入学選抜については、面接及び学校独自の選抜方法の実施結果並びに出願書類を総合的に判断して選抜する。

## Q5 神石高原町連携型中高一貫教育ではどのようなことをしているの？

**A** この情報紙に掲載しています。神石高原町連携型中高一貫教育についての概要「の中の」神石高原町連携型中高一貫教育のイメージ」をご覧ください。

## Q6 神石高原町連携型中高一貫教育では、具体的にどのような取組をするの？

**A** 問うと同じく「神石高原町連携型中高一貫教育についての概要」の中の「神石高原町連携型中高一貫教育のイメージ」の中にある「連携の柱」「連携実践例」をご覧ください。

## Q7 この事業を推進していくためには、どのような事が重要な？

- A** 神石高原町中高一貫教育検討委員会の答申書には、次の3点が重要と述べられています。
- ① 推進組織の中核は油木高校をはじめとする学校と広範な町民の支援体制
  - ② 立地条件
  - ③ 人的・財政的配慮

